

第 3 学年 創る 科学習 指導案

3年2組 指導者 林 絵梨

単 元 どんな問題があるのかな？

1 本単元で子供が創出と受容、転移を行う価値

問題を見出す力

2 本単元について

本学級の子供たちは、これまでの創る科の学習において、問題を見出す際、不足した状況と現在の状況とのズレから問題を見出してきた。このような子供たちが、「あったらいいな」と考えることで望ましい状態を想像し、現在の状況とのズレの中で問題を見出していく。与えられた問題の解決ばかりに目が向いていては、子供が主体的に問題解決をしていく姿にはつながりにくい。問題発見の過程を大切にすることで、学習や生活の中で主体的に問題解決をしていく子供の姿につながると考える。

本単元で扱う「問題」とは、不足した状況や望ましい状態と現在の状況にズレがあることである。子供の意識では、不足した状況から「足りない」と考えることや現在の状況から「あったらいいな」と考えることである。本単元では、それぞれのズレから問題を見出していく。その際、望ましい状態を想像することを大切にしたい。なぜなら、望ましい状態を想像することで、現在の状況に対する問題を見出し、主体的に問題解決をする子供の姿につながると考えるからである。そこで、望ましい状態を想像することができるよう、子供たちにとって未知の状況について考える場面を設定する。そうすることで、あったらいいなと考えて望ましい状態を想像し、現在の状況とのズレから問題を見出す子供の姿につなげたい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- 現在の状況に不足のある場面や未知の状況を提示する。そうすることで、「足りない」と考えたり、「あったらいいな」と考えたりすることができるようにする。【創】
- 問題を見出すことができた理由について問う。そうすることで、現在の状況とのズレから考えていたことに気付くことができるようにする。【受】
- 身の回りの事象の現在の状況を提示する。そうすることで、様々な場面でも「足りない」と考えたり、「あったらいいな」と考え、望ましい状態を想像したりして問題を見出すことができるようにする。【転】

3 主としてねらう各教科等への転移

学年	教科・領域	単元
第3学年	算数科	小数
第3学年	国語科	すがたをかえる大豆

算数科の「小数」の学習では、小数の加法・減法の計算方法について考えていく。子供たちにとっては未習であるが、「整数だったらいいな」と考えて問題を見出すことで、小数の計算の仕方を導き出すことができると考える。

国語科の「すがたをかえる大豆」はこれまでの説明文と違って「問い」のない説明文である。なぜ問いがないのか見出すことで、筆者の書き方とのズレから、文章構成について考え、説明の仕方の工夫を見つけることができると考える。

4 指導計画（全4時間）

第1次 現在の状況との比較から、問題を見出す（3時間）【本時3／3】

第2次 身の回りの事象に対して、問題を見出す（1時間）

5 本時案 【令和4年10月22日 9:20~10:05 3年2組教室】

(1) ねらい 不足した状況や未知の状況について話し合う活動をとおして、「足りない」と考えたり、「あったらいいな」と考えて望ましい状態を想像したりしながら問題を見出すことよき気付くことができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 「現在の状況」から「不足した状況」について話し合う。(10分)</p> <p>・不足分に着目すること</p>	<p>・新しいレストランができるのだって。</p> <p>・メニューがハンバーグとオムライスしかないよ。</p> <p>・これでは、どちらかしか選べないよ。</p> <p>Aメニューが少なすぎるのが問題だね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうすればもっとよいレストランになるのかな。</p> </div> <p>・<u>カレーとかパスタとか他にもたくさんメニューがあるといいな。</u></p> <p>・デザートもあるといいね。</p> <p>・ハンバーグの種類を増やしてもいいのではないかな。</p> <p>・メニューを増やすと、このレストランに行きたくなるね。</p>	<p>○不足した状況や未知の状況を提示する。そうすることで、「足りない」と考えたり、「あったらいいな」と考えたりすることができるようにする。 【創】</p> <p>○望ましい状態を想像していることを見取った際に、問題と捉えた理由について問う。そうすることで、「あったらいいな」と考えて望ましい状態を想像し、問題を見出していたことに気付くことができるようにする。 【受】</p>
<p>2 「現在の状況」から「望ましい状態」について話し合う。(25分)</p> <p>・「望ましい状態」を想像すること</p>	<p>A え、このレストランは 2050 年にできるレストランなのだって。</p> <p>B だったら、ボタン1つで食べたいものがすぐに出てきたらいいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうしてそう思うのかな。</p> </div> <p>B だって、普通は注文してから運ばれてくるまでに時間がかかるからだよ。</p> <p>・<u>料理が出来上がるまでに時間がかかることが問題だね。</u></p> <p>・自分が食べたいと思う世界中の料理が食べられたらいいな。</p> <p>・私は、あたたかい料理がずっとあたたかいまま食べられたらいいと思うな。</p> <p>・他にも、家の前に行きたいレストランが来てくれたらいいな。</p> <p>・そうすると、行きたいレストランが遠くにあることが問題だね。</p>	<p>○問題を見出すことができた理由について振り返るよう促す。そうすることで、「足りない」と考えたり、「あったらいいな」と考えて望ましい状態を想像したりすると、問題を見出すことができることに気付くことができるようにする。 【受】</p>
<p>3 本時の学習を振り返る。(10分)</p> <p>・問題の見出し方</p>	<p>A はじめは足りないものを見ると問題を見つけることができたよ。</p> <p>・<u>もっとこんなレストランだったらいいなと想像すると、別の問題が見つかったね。</u></p> <p>・今あるものからよりよいものを考えると、問題を見つけることができるのだね。</p>	<p>○問題を見出すことができた理由について振り返るよう促す。そうすることで、「足りない」と考えたり、「あったらいいな」と考えて望ましい状態を想像したりすると、問題を見出すことができることに気付くことができるようにする。 【受】</p>

